

平成15（2003）年7月2日 文教市民常任委員会

1 教職員研修事業について

2 いじめ・不登校について

3 スクールカウンセラーについて

4 総合型地域スポーツクラブについて

No.94 灰垣委員

私の方からは、4項目ほどにわたってご質問申し上げたいと思います。

先日、6月22日付でございますけれども、毎日新聞に精神疾患での休職の教師が、1991年には1、129人と。10年後の2001年には2、503人とこれは病気休業者の5割に当たるといった報道がされてました。また、ストレスを感じるとか、イライラすると、こういった回答をした教師が小学校で7割に達するという調査も出ておりました。

まことにつたない体験ではございますけれども、私も5年間、PTAの会長をさせていただいております。教師という職業が、いかにお忙しく、大変であるかということをご多少でも知っているつもりでございます。また、非常に崇高な、また責任のある職業であるというふうに、私はいつも尊敬の念を持って接してきておりました。

育児は育自という、子どもをはぐくむにはみずからが成長していかなくてはいけないという、こういう言葉は、私は非常に好きな言葉でして、本来、子どもの教育というのに一番大事なのは親だというふうに、私は思っております。常日ごろからそのように思っておりますけれども、学校、先ほどからもお話ありましたけれども、学校生活というの、非常に子どもにとって長い時間になるということを考えるときに、学校の先生が子どもたちに及ぼす影響というのは、非常に大きくなっていくというふうに、私は思います。

先ほど申しました育児は、育自というこの原理からいきますと、学校の先生みずからが、常に努力、研さんをしている姿が子どもたちに多くの影響を与えると、このようにも考えております。

少々前置きが長くなりましたけれども、そこで、人が輝く育みのまちづくりですか、方針の中で、教職員研修を市が主体的に実施することにより、さらなる内容の充実を図り、教職員の資質の向上に努めてまいりますと、こういうふうに語られておりましたけれども、本市の教職員研修の実態の資料を、先日いただきました。ありがとうございました。

そこで、まず、改めてその研修の目的と、それから成果をお示しいただければと思っております。

また、本市で大阪府の研修制度で1年間、企業に研修に行った先生がおられるとお聞きました。ここでの成果も、さらに重ねてお示しいただければと、このように思っております。

さらに、今後、この長期研修といいますか、高槻市独自でこういった長期にわたる企業研修といいますか、そういったものを実施する予定があるのかどうかということ、まずお聞きしたいと思います。

No.95 金築教育センター所長

今年から本市は中核市に移行しまして、本市独自の教育課題が教育センターで研修実行できるようになりました。

今年度、教育センターの研修のポイントは、1点は学力向上、学習指導の充実、少人数指導、英語教員研修指導、国語教育の充実。2点目は、不登校対応に対する研修。3点目は、基本研修として、初任者研修等のキャリア研修を実行していく予定でございます。

先ほどご指摘の民間企業の研修については、昨年、1名だけ府の研修で1年間研修してまいりました。市独自の取り組みとしては、財団法人の経済広報センターの管理課紹介で毎年行っております。今まで関西電力、大阪ガス、松下電器、JR西日本。ことしは近電、延べ35名の教師が民間企業研修に参加しております。

成果としましては、研修した者の報告書によりますと、3点あります。1点は、非常に民間企業の厳しさを感じてまいったと。それから、上司と部下の関係について、教職員の世界とは全然違う世界であると、これも非常に学ぶべき点が多かった。3点目は、社会人としてあるべきマナーの習得を、この1年間の研修でできたというふうな成果が上がっておりますので、今後、この民間企業研修については、市は、当面は財団法人の経済広報センターの管理課の研修をしてまいりますけれども、その拡大については、考えていく必要があるというふうに思います。

No.96 灰垣委員

1年間研修を終えられて、今、冠中学校に赴任されてますけれども、実は一度お会いして、お話を伺ってそのような感想を述べておられました。

何度も申しますけれども、育児という部分で考えますと、子どもたちの未来を育むという意味でいけば、我々大人が、非常に努力していかなくちゃいけないんじゃないかということ、私自身思っております。

6月26日、これもテレビで大きく報道されましたけれども、全国でも前例のない学力不足で教職員免職と、こういった記事を読んで愕然としたのは私だけじゃないと思うんですけれども。ことしの4月から11回のテストを受けながら、1回も合格ラインに達しなかったと。さらに、中でも80点満点で合格平均が40点だった府立高校のテストでも24点しか取れなかったと、こういうのも言語道断だと思うんですが、さらに私は憤りを感じたのは、この先生が、テストの結果がよくなかったのは準備をしていなかったから。また、指導力が向上していないとは思わないなどと主張されて、一切反省をされてないといった、この部分が非常に私は憤りを感じたわけです。

こういったことを考えても、この教職員の研修というのは、教職員の研修を受けたことによって大きな前進というのは、それほど見込めないかもしれませんが、習慣づいていく中にこれが非常に効果をあらわしていくんじゃないかというふうに思っております。

また、非常に耳障りのよくない記事ばかりですけれども、吹田市の男性職員が、小学校児童に体罰を加えて、前歯を折るけがをさせた。これ、理科の実験中に子どもが騒いで雑巾を投げていて、その雑巾を取り上げて、その子どもを黙らすために、頭をわしづかみにして座らせようとして、机に顔を打ちつけた。もう、本当に聞くに堪えないような先生だなというふうに思いました。

また、福岡でも、小学校4年の担任の先生が、ミッキーマウスといって、こうなんでしょうね、アンパンマンという、こういった体罰を与えて、集中的にあるとき、その児童に体罰を加えて親御さんからお話がいったと。それで担任を外されるという。その上に、その先生は、5月の家庭訪問のときに、日本は島国

—何か祖母がアメリカ人だったということで、日本は島国で昔は純粋な血しかなかったのに、汚らわしい血が混じったとか、こういった暴言をはいたというような記事も載っておりました。

そういう意味で、私もそういうように心がけているつもりでありますけれども、子どもたちを、未来を育むためにご教示されている先生方が、やはり、まずみずからを磨いていくという、こういったふうに心がけていけなかったかなと、そのように思っておりますけれども、この点についてはいかがでしょうか。

No.97 大森学校教育部長

今、仰せの点につきましては、私どもも他市の状況ではありますが、本市においても十分心して教職員の指導、教職員自身の資質向上を図っていくことに努めなければならないと考えております。

先ほど、教育センター所長が申しましたように、今年度、中核市の移行に伴い、研修の権限を本市で全部受けて実施すると、こういうことになりました。この権能を最大限生かして、本市の教育課題に対応する、教職員の資質向上を図ってまいりたいと、このように考えています。

きめ細かい指導についても、学校長を通じて実施していきたいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。

No.98 灰垣委員

今、仰せの点につきましては、私どもも他市の状況ではありますが、本市においても十分心して教職員の指導、教職員自身の資質向上を図っていくことに努めなければならないと考えております。

先ほど、教育センター所長が申しましたように、今年度、中核市の移行に伴い、研修の権限を本市で全部受けて実施すると、こういうことになりました。この権能を最大限生かして、本市の教育課題に対応する、教職員の資質向上を図ってまいりたいと、このように考えています。

きめ細かい指導についても、学校長を通じて実施していきたいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。

No.99 米津学校教育部参事

ただいまご指摘いただきましたように、平成10年度に比べまして、14年度、非常にたくさんの不登校生徒が、とりわけ中学校でふえておると、こういうご指摘でございます。

1点、数字の読み方といたしまして、今まで非行等の子どもたちを不登校生というカウントをしなく、その他というようにカウントしておった平成10年度におきましては、125という数字で、その他の数が非常に多うございました。それを、非行であっても学校へ来ていないということで、不登校にというカウントをいたしました結果、昨年度につきましてはその他が7名に減っておるということで、不登校生そのものの推移については、単純に2倍ということにはなりません。

ただし、非常に多くの子どもたちが長期欠席をいたしておると。このことについては、私どもとしては、とりわけ学校教育部の本年度の最重点課題と、このように位置づけて取り組みをしているところです。

ちなみに、どの学年でふえておるかということもお話申し上げておきたいと思っておりますけれども、小学校で言いますと、2年生から3年生にかけて、さらには小学校6年生から中学校1年生に上がる段階で、

不登校児童生徒がふえております。このような状況とあわせまして、中学校の特徴といたしましては、明確なきっかけや理由がはっきりせずに、何となく学校へ行けないといった、いわゆる無気力型と申しますか、そういった生徒がふえております。さらには、中学校におきましては、遊び非行型と申しましうか、そういった生徒もふえておるといのが現状です。

大変重要な課題だということで、教育委員会としても重点的に取り組んでまいりたいと思っております。よろしく申し上げます。

No.100 灰垣委員

取り組むという、内容的なものです。どのようにして、心の相談員ですか、それからスクールカウンセラーといった、こういった配置がどこまで進んでいるのか。またそういった成果というんでしょうか、そういったことを配置することによって解消したという実例等もございましたら、ご答弁いただきたいと思えます。

No.101 米津学校教育部参事

ただいまご指摘いただきましたスクールカウンセラー及び心の教室相談員について、お答え申し上げます。

平成15年度、スクールカウンセラーは臨床心理士の資格を持つカウンセラーを10校に配置いたしております。そして、残りました8校の学校につきましては、心の教室相談員を配置しておると、こういう実態になっています。

なお、どういう成果があるかということでございますけれども、昨年度1年間でスクールカウンセラーに相談した生徒は500名を超えます。さらには、心の教室相談員に相談した生徒は、何と2,400の数を超える子どもたちが相談をしておると、こういう実態でございます。

そういう中で、スクールカウンセラーや心の教室相談員の方と出会うことによって、自分自身を振り返り、危機的な状況を克服して学校復帰に至った児童生徒もおります。

以上でございます。

No.102 灰垣委員

非常に難しい問題であります。心の問題というのは、絵にかいて、または図式にしてあらわせるわけはありませんから、非常に難しい問題であると思えますけれども、今、心の相談員に相談されたのが2,400名ですか。それから、スクールカウンセラーに相談された方も500名いらっしゃるということを考えれば、やはり子どもたちは何かを求めているという部分でいけば、やはり我々、モデルである大人がしっかり心得ていかなくちゃいけないことではないかというふうに思いますので、今後もさらなる力を、よろしく願い申し上げます。

長くなってますけれども、次に中学校の部活指導者派遣事業という、この部分に関してご質問したいんですけれども。

現在、47名の方がこの制度にご賛同をいただきまして、技術指導に汗を流されているというふうにお聞きしました。私もPTAの会長の任期中にも、この問題が多く取り上げられておりました。中にはやは

り、最終的にはクラブが消滅したといった、そういった実態もありましたけれども、現在、派遣回数が年間1校につき40回ですか、こういうふうに定められているそうですけれども、これで実際に学校から来てほしいと、指導に来てほしいという要望と、実際の今の数字との整合性というか、あるのかということをもまずお聞きしたいのと、問題点ということ、この中で挙げられるとすれば何があるのか。また、もう一つは、今後、この制度を拡大される予定があるかということをご質問させていただきます。

No.103 米津学校教育部参事

お答え申し上げます。ただいま、ご指摘いただきましたように、18中学校に47名の外部指導者を招聘いたしております。その結果、市内の中学校では、16種類の運動部と12種類の文化部がございますけれども、約8割の生徒が入部しておると、こういう実態がございます。

そういう中で、今、ご指摘いただいた47名の方については、非常に有効にと申しますか、活躍していただいておりますという状況でございます。

ただし、学校の要望といたしましては、非常に教職員が高齢化いたしておるといような問題なり、教員が減ってきておると、生徒数が減ってきておると、そういう状況の中で、なおかつ学校が非常に多忙でございます。そういった中で、十分に指導できる体制がとれないという課題もございますので、そういった観点では、一人でもたくさんの方にご協力いただくことはありがたいことだと、このように考えているところでございます。

ただし、2点目に問題点はないのかと、こういうご指摘でございますけれども、実際問題といたしましては、学校と外部指導者との間の意思疎通が非常に重要になってまいります。現実の問題といたしまして、外部指導者の方が、いわゆる勝利至上主義と申しますか、どんなことがあっても勝つんだと、こういうお考えでおられた場合につきましては、学校教育における部活動といえますのは、多くの子どもたちが楽しみながら、体力の向上も兼ねながら、自分の個性を伸ばしていくという、そういうねらいがございます。

そういった意味で、外部指導者の方と、そして学校とが十分に意思疎通を図っていく、こういった課題が現実にはあろうかと、このように思っています。

今後、拡大していくのかということでございますけれども、ここで、はい、と言うわけにはまいりませんが、現場としましては、少しでもという、そういう声がございます。そういったことも踏まえながら、今後、研究検討を重ねてまいりたいと、このように思っています。

以上です。

No.104 灰垣委員

ありがとうございます。

学校側と指導者の方との意思の疎通がという問題に関しましては、努力をしっかりといただいて、最善の形で派遣事業を進めていただきたい。

また、拡大を、実際に地元の学校でもご要望がございます。そういう意味でも、何とかご要望にこたえられるような形でお願いできたらなと思います。

最後なんですけれども、派遣事業にちょっと関連するかなと思ひまして取り上げさせてもらったんです

が、実は、ことしの3月ぐらいに、私の住む地域の学校開放の委員会の委員長とちょっと話す、懇談する機会がありました。

その方がおっしゃってたのは、現在の学校開放は、どちらかという一部の人のみが利用するような、そういった制度にとどまっていて、私の考えもそうだったんですけれども、学校と家庭と地域というか、社会ですね、このつながりをもっと持つような、そういったネットワーク化ができないかなという、そういった話をしたときがあったんですね。

きのうちょっとお話を伺っている中で、総合型地域スポーツクラブですか、寿栄の方で実際に運営されているようだけれども、現在、ここで500名ほどの会員がいらっしゃるとお聞きしましたが、実際、この年齢層というのはどういった年齢層になるのかということですね。

それと、2つ目は会員の方たちの、抽象的な答えになるかもしれませんが、反応はいかがでしょうかということ。そして、規約の中にも、今後、3か所、全市の中に3か所もしくは4か所、こういったクラブをつくっていくというお考えであるようだけれども、この中で時期はいつごろお考えかということと、そういったあとの3か所、4か所になるんですか、2か所になるのか、中心地域をどの辺にお考えかということ、ちょっとお聞かせいただければというふうに思います。

No.105 高橋スポーツ振興課長

ただいま、委員お尋ねの寿栄の総合型地域スポーツクラブについてでございますが、総合型地域スポーツクラブは、初めてそういった言葉をお聞きになる委員の方もいらっしゃると思いますが、取りあえずは平成12年9月に文部省がスポーツ振興基本計画を立てました。その中で、3つの柱としまして、1つが地域スポーツの振興、2つ目が競技力の向上、3つ目が学校体育スポーツと地域スポーツの連携というような大きな3つの柱の中で、1つ目の地域スポーツの振興の大きな柱として、総合型地域スポーツクラブという位置づけがされました。

その特徴といたしまして、地域の方々の自主運営、会費・会員を募りながら自主運営をする。それから、そのクラブは多種目が存在するといったことが大きな特徴と言われております。

今、委員お尋ねの寿栄の総合型地域スポーツクラブ、さくらスポーツクラブと申しますが、そのさくらスポーツクラブにつきましての年齢層は、基盤としましては、少年が基盤になっております。しかしながら、従前、学校開放で学校体育施設を利用できなかった人が会員になり、現在はスポーツクラブの会員として活動されておるといふふうに聞いております。

年齢層のパーセンテージについては、正確には把握できておりませんが、新たな掘り起こしができておるといふふうに伺っております。

会員の反応についてですが、独自のスポーツクラブハウスも持つことにより、非常にそこで集う回数がふえたというふうに、非常に地域では評判のいいクラブハウスとして、パティオという名称をつけ、地域の方々がそこに集い、スポーツ談義に花を咲かせておると聞いております。

3点目の市内の三、四か所という分についてでございますが、あくまで私どもとしまして、本市を3地域、あるいは4地域に分けたイメージで想定しておりますが、この総合型地域スポーツクラブの設立につきましては、あくまで行政主導型ではございません。行政は後方支援型でございまして、地元の人々

の厚い熱意をもとに、こういったクラブが立ち上がるというふうを考えております。

そういった意味で、今現在、高槻の南部、あるいは北部でそういった研究の動きが出ておるのは事実ですが、設立がいつになるかというのは、まだ不明というところでございます。

以上でございます。

No.106 灰垣委員

ありがとうございます。

私も最初に申しましたように、このネットワーク化ということを考えてがありまして、地域と家庭と学校という、非常に理想なトライアングルと思いますけれども、こういったものがさらに進んでいくような、こういった制度といいますか、非常に注目させていただいているところでございます。

あと、高槻市全体に、これが行き届くように、さらに地域住民の方のお声が当然大事になってくるとは思いますけれども、市としても、どんどん啓発の運動もしていただけたと思いますので、どうかよろしくお願ひ申し上げます。

私の方からは以上でございます。ありがとうございました。